

誰かの夢をかなえる仕事をしたい

～人生に無駄はない。自分が変わること～

2023年3月8日・9日

30代 鈴木弓依さん 石巻市

聞き手 千葉直美

\* 鈴木さんとは、この聞き書きが2回目となる。前回は2021年だった。

3.11 当時は生きるのが精いっぱいだった。自分には亡くした家族がいないので、亡くした人に比べれば、そんなに大変ではない。親しい人を亡くした悲しみは、その人にしかわからないと思う。犠牲になった人がたくさんいるが、生かされた人、生きた人がいる。たまたま助かったのではなく意味があるのではないかと。自分は誰かの代わりに生かされた気がする。災害はどこでも起こる。

3.11のことは、普段は意識していなくても、3月が近くなると思い出し季節がそうさせる。最近、よりリアル感を持って思い出す。懸命に生きてきたけれども自分には価値がないと気分がおちこんだことがあり、2018年ぐらいに動悸がみだれ、死ぬんじゃないかと怖かった。2021年ぐらいから、やっと上向いた。

原発事故はしかたない。エネルギーは必要だから。起きてしまったことは、どうしようもないし。そう思って過ごしてきたが、電気を原子力発電や火力発電に頼らずに発電する方法を研究している博士との出会いがあり、考えが変わってきた。内容は水素エネルギーで発電するもの。今はその研究が進み、世の中の役に立つ発信ができればと思っている。

当時、福島に住んでいた母は、避難して東京などを転々とした。母を取り巻く、解決していかないものが3.11に現れた。「みんなに申し訳ない」とずっと言って生きてきた母。障がいをもって生まれた母は、世のなかに対して「申し訳ない」と言い続けている。

「できない」というのは簡単だけど、その人が「やりたい」「なりたい」を支える仕事を将来したい。できないと思ったらできないので、できる方法を一緒に考える仕事。たとえばモデル。モデルになるには、少しハードルが高くとも、何かモデルやファッションにすることができるよう手伝う仕事が夢。雇われる人生ではなく、自分で仕事を作っていきたい。最終的には、AIじゃなく残るのは人の想いだと思う。自分の想いや気持ちを届けて伝えたい。言葉にはエネルギーがあるので、何か形にできればなあ。自分が変わることが大切だと思う。人生に無駄はない。現世で自分を楽しめれば、それが自信になる。今は、ヨガを通じて内観している。

ウクライナの戦争について、自分に何ができるか、自分は何をしたいのか考えている。

寄付は本当に困っている人のところに直接届くのかなぁとか、報道はどれが本当なのかとかも。ミサイルが降ってきて、命が脅かされながら生きている人たちが、世界にはいっぱいいる。

そして戦争はウクライナだけでなくってきている。戦争からは憎しみしか生まれない。被爆国である日本が、伝えていなければとも思う。そのために直接私ができることは正直ないのかもしれない…。でも、直結しないかもしれないし、小さいけれど、私は誰かの「やりたい」を否定せずに応援できる人でありたい。誰だって相手に「どうせできないよ」と言われたらやる気なくすと思うから。みんなが応援し合える世の中になれば、最終的には戦争のない世界につながっていくのではと思う。

以上